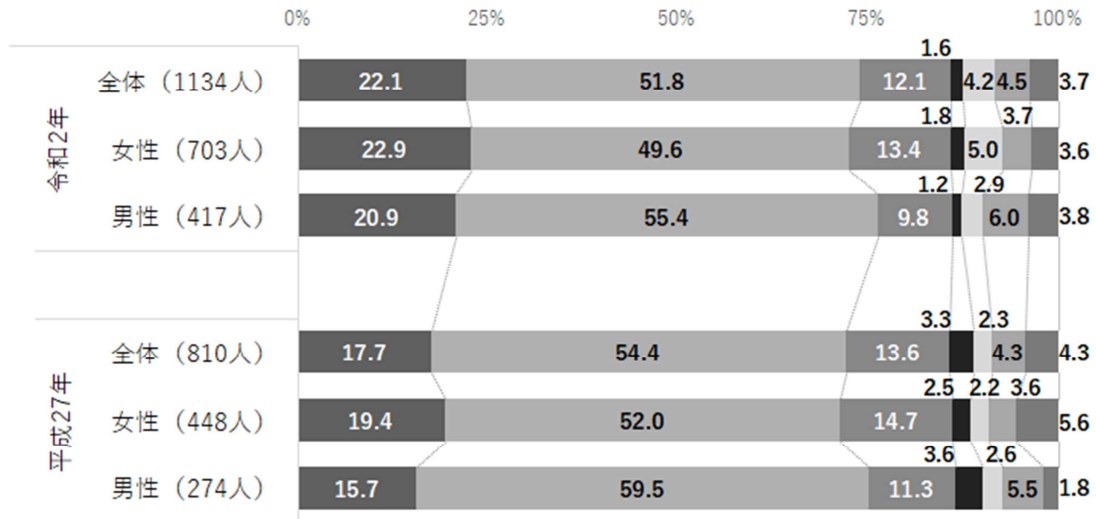


8 男性の育児休業の取得について

問11 男性が育児休業を取ることに、あなたはどのように思いますか。次の中から、あなたの考えに最も近いものを選んでください。

図II-8-1 男性が育児休業を取ることに[全体、性別] (前回調査比較)



- 父親として当然のことである
- 取ることが望ましいが、職場環境を考えると取れなくてもしかたがない
- 休業補償が十分ではないので、取れなくてもしかたがない
- 育児は母親がすべきなので、取る必要はない
- その他
- わからない
- 無回答

男性が育児休業を取ることにどう思うかたずねたところ、「取ることが望ましいが、職場環境を考えると取れなくてもしかたがない」が51.8%と過半数を占め、次いで「父親として当然のことである」が22.1%だった。

性別にみると「取ることが望ましいが、職場環境を考えると取れなくてもしかたがない」は男性が55.4%で、女性よりも5.8ポイント高い。逆に「休業補償が十分でないので、取れなくてもしかたがない」は3.6ポイント、「父親として当然のことである」は2.0ポイント、女性の方が高くなっている。

年齢別にみると、「父親として当然のことである」は20歳代の男性で34.3%にのぼっている。「取ることが望ましいが、職場環境を考えると取れなくてもしかたがない」は40歳代以上の男性で、「休業補償が十分でないので、取れなくてもしかたがない」は30歳代の男性でとくに高くなっている。

前回調査と比較すると、「父親として当然のことである」の割合が男女とも増加しており、とくに男性は5.2ポイント増加している。これは20歳代の回答が影響していると考えられる。その分「取ることが望ましいが、職場環境を考えると取れなくてもしかたがない」「育児は母親がすべきなので、取る必要はない」など他の項目が減少している。

表Ⅱ-8-1 男性が育児休業を取ることにについて[全体、性別、年齢別]

		標本数	問11 男性が育児休業を取ることにについて						
			ある父親として当然のこと	なくともしかなかったが取れない	職場環境を考えたい	取ることが望ましいが、	たが、取れなくともし	の休業補償が十分ではない	の育児は母親がするべきな
全 体		1134	22.1	51.8	12.1	1.6	4.2	4.5	3.7
性・年齢別	女性：全 体	703	22.9	49.6	13.4	1.8	5.0	3.7	3.6
	女性：20 歳代	123	27.6	46.3	18.7	0.0	1.6	3.3	2.4
	女性：30 歳代	128	25.0	49.2	15.6	0.8	4.7	3.1	1.6
	女性：40 歳代	123	22.0	48.8	8.9	3.3	10.6	2.4	4.1
	女性：50 歳代	142	16.9	50.0	16.2	3.5	5.6	4.9	2.8
	女性：60 歳代	134	21.6	55.2	11.2	0.7	3.7	3.0	4.5
	女性：70歳以上	52	26.9	46.2	3.8	3.8	1.9	7.7	9.6
	男性：全 体	417	20.9	55.4	9.8	1.2	2.9	6.0	3.8
	男性：20 歳代	67	34.3	43.3	9.0	0.0	1.5	10.4	1.5
	男性：30 歳代	58	19.0	43.1	22.4	1.7	5.2	6.9	1.7
	男性：40 歳代	64	15.6	65.6	7.8	1.6	3.1	4.7	1.6
	男性：50 歳代	79	25.3	57.0	7.6	1.3	3.8	3.8	1.3
	男性：60 歳代	107	13.1	61.7	9.3	1.9	1.9	6.5	5.6
	男性：70歳以上	42	21.4	57.1	2.4	0.0	2.4	2.4	14.3
不 明		14	21.4	50.0	14.3	0.0	7.1	0.0	7.1

「その他」の内容

《女性／20 歳代》

- もともと育児に参加していた男性であれば有意義ですが、もともと育児に参加していない人が育休をとっても居るだけジャマなので相手によると思いました。
- 給与が安定しているのであれば問題ないと思う。

《女性／30 歳代》

- 育休をとって、家事を出来る人であれば良いと思うが、結局、家事が出来ないのであれば、休む意味はないと思う。育休を取れる会社は、大きい会社のみ。人手が足りないと、休める状態ではない。
- 男性が育児休業を取る事で、積極的に育児に取り組んでもらえるのであれば良いと思う。
- 休業はしなくても良いが、時間短縮やなにかある時に対応できる方が良い。
- 各家庭で決めることで、他がとやかく言うことではない。
- 夫婦で話し合い、ベターな方法を選ぶべき。
- その家庭で決めていい、職場は理解と変な目でみる人をつくらない。

《女性／40 歳代》

- 当然とは思わないが、取る必要性のある場合、取らなくてはならない場合がある時、取り

やすい環境を県や市でもう少し職場に協力して頂きたい。

- 取ることが望ましいが、休業補償が十分でないので取れない。
- 育休は取っても取らなくても自由だと思います。男性が育児をする事も必要かもしれませんが、母親の気持ちを（不安など）聞いてくださる方がありがたいです。
- 仕事優先で父親はしてほしいがどうしても母親が見れない時とれるくらいが望ましいと思う。
- 育児全搬は、母親がすれば良いが、サポートが必要な時もあるので、その時に手伝って欲しい。
- どちらが子育てに向いているかで決める。
- 休業補償が充実し、望めば育児休業が必ず取れる環境がどんな職場でも当たり前になるような法的にも整備されることが望ましいが、実際取得しても、母親まかせで、ろくに育児や家事に関わらないパートナーもいるので、子供の頃から成人になっても啓発する必要を（男女に関らず）強く感じる。
- 取れた方がいいが、妻の邪魔になるのならやめた方が良い。そこは夫婦で話し合うべきだと思います。
- 育児休業を取る意味を男性側がきちんと理解していなければ何の意味もなく、邪魔になるだけだと思う。
- 「とるだけ育休」では、母親の負担が増すだけ。同等の家事・育児であるべき。
- 育休を取っても、家事や子育てを100%できる（する）とは思えない。
- とるだけでとって家でダラダラ過ごされるのならいい。
- 男性のただの休みになっているだけ。

《女性／50歳代》

- 必ず取るというより、その家庭で必要な場合は育児休業は必要。ただ、女性の場合でも今の社会なかなか難しい、男性はそれ以上だから取れないだろう。
- 男性が育児休業した時の収入が減った場合は困る。
- 家族と話し合い協力していれば無理する事はない。
- 夫婦で話しあうことが一番。
- 取りたい人が取れば良いと思う。
- 父親の世話までしなければならなくなると、母親は大変！父親は本当に育児に協力するのか？
- 男性が育児休業をとって、家の事を女性に押しつけるなら、なにもならない。ただたんに、休んでいるだけ。
- 自営で田畑してる家は無理。

《女性／60歳代》

- 当人にも職場にも、制度実行の為には、保償が必要。
- 母親が出来なければ、祖父・祖母が協力して、それでも出来なければ父親も協力すべきだと思う。
- 男性が育児休業とる事の意味を理解していない気がする。休業する前の男性の意識の認識

が先。母子、家族にとってプラスになるのであれば取っても良いと思うが？

- 休業しても育児に対してどこまでできるかが問題だと思う。

《女性／70歳代以上》

- 子供を育てる事は並み大抵（タイテイ）のことではない。男性が育児休業をとったからといってどうにかなるものでもないので子供は最初から作らない。

《男性／20歳代》

- 育児休業を取りたい男性は多いと思うが、周りの目や、仕事に穴を空けられないので実質取れないような体制になっている。

《男性／30歳代》

- 取る必要があるならとればいい。女性も同様。
- 家庭ごとに話し合うべき。
- 日本では無理。

《男性／40歳代》

- 必要ならばとることが望ましい。
- 取る事が望ましいが1番の父親として当然とまでは・・・

《男性／50歳代》

- 休業補償は金額の多少のことが十分かということの問題とせず民間レベルの所得補償の保険など、取り扱むべき視点は沢山あるようです。
- 取らせてあげたいが本人の努力が足りないときもあるかもしれない。あと保育所の拡充が必須だと思いますが。
- 核家族化が原因だと思います。昔は、じっちゃん、ばあちゃんがまごのめんどうをみてくれたから。

《男性／60歳代》

- 職場環境が許せば取るべき。
- 育児をするのであれば必要◎ しかしタダ休みをふやすだけでは必要なし。

《男性／70歳代以上》

- 父親の力がなくなる。

《性別不明》

- それぞれの家庭に合った形で勤務時間を取るべき。休業を取ることを強要すべきではない。